

安心安全



福垣内邦治 議員

Q 町内消防団に対する町の関与支援は

A <町長>

防災、減災への取り組みには消防団は欠かせない存在だ、環境整備を進めていく。

技術の向上は消防団にとって必要不可欠と考える。消防学校での訓練内容の情報も収集し、実践に活用できる訓練方法を取り入れることを検討していく。

団員は時間に都合をつけ訓練に参加している。集団行動訓練などよりも他の訓練時間を確保してはどうか。

消防団役員会で協議していききたい。安全管理講習等も必要と考える。若い団員の意見も吸い上げていききたい。

新たな訓練内容、技術向上訓練を検討してはどうか。

[A1]

[A2]

[Q2]

[Q1]

消防団協力事業所表示制度や活動の周知で理解を深めていく。

団員の勤務先等への理解は進んでいるか。

近年はオートマ限定免許所有者も増加している。消防積載車についてはAT車両、軽自動車も検討していく。消防学校で実施されている、車両訓練の導入を検討していく。

現在の所有車両は適正か。2t車などの運転技術訓練も必要ではないか。



▲ 消防積載車

Q <福垣内 邦治 議員>

防犯に対する取り組みは

A <民生部長>

海田警察の意見も聞き、防犯カメラを県道や町道へ設置の検討をしていきたい。

町所有車両のドライブレコーダーは。

町が設置し管理運営する方法が適当であると考えている。

防犯カメラは、町が設置するのか。



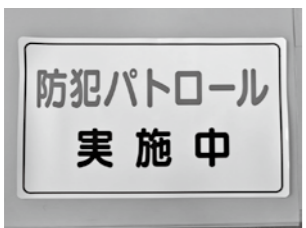
▲ 役場庁舎の防犯カメラ

町施設に12台、小中学校合わせて18台である。それらは屋外向けに28台、屋内向けが2台、計30台設置している。

町施設の防犯カメラは何台あるか。

[A1]

[Q1]



▲ 防犯パトロールのステッカー

現在も申請いただければ配付している。周知方法の見直しを検討していく。

以前は「防犯パトロール中」との黄色いステッカーを付けた車を多く見かけていた。現在は見かけなくなったが。

[Q4]

現在の町内には1台も付いていない。青色防犯パトロール車から予算の範囲内で設置し、公用車の更新時などに順次設置していければと考えている。

[A3]

Q <沖田 ゆかり 議員>

学校における働き方改革を

A <教育長>

教育委員会の規則において、教員の時間外勤務の上限について明記する。

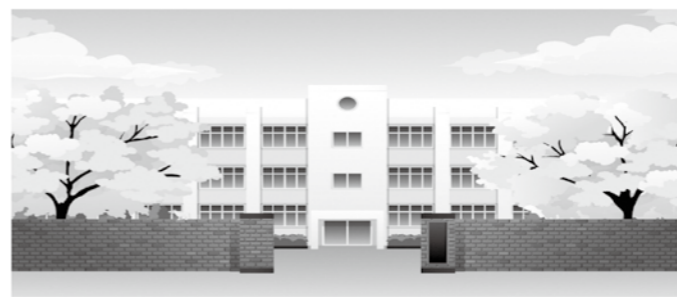
学校や教員に対する支援の主体は教育委員会だけではなく、熊野町全体として考えるべきではないか。

[Q2]

令和3年度に現在の教職員が使用しているパソコン及び学校サーバーのリース契約が満了するため、更新時期を機に熊野町においても導入を検討していく。

[A1]

教員を支援するツールとしてICTを効果的に活用することが、教材の研究、作成などの授業準備の効率化や書類作成や会議の効率化、効果的な実施を可能にする。平成25年に教員の事務負担の軽減のため、校務支援システムの導入について質問したが検討されたのか伺う。



令和2年度からは、熊野町学校運営協議会を設置し、地域の方に入っていたいただき、学校運営等の協議をいただきながら、地域理解、地域のご支援をいただく。

[A2]

Q 生活習慣病予防及び介護予防の取り組みは

A <町長>

熊野町健康増進計画を策定し取り組んでいる。



水原 耕一 議員

支援方法としてスマホのアプリ導入を考えたみては。日々歩いた歩数や運動記録をアプリで行なっている。

[Q3]

支援方法は面接で生活習慣を振り返る。目標や行動計画を立て、6ヶ月後達成したか評価を行なっている。

[A2]

健診受診後、数値に問題がある方などのような保健指導を行なっているか。

[Q2]

健診受診率は33%で大きな伸びには至らなかった。今後、健診のしおりやポスターなどで、アプリの工夫をしていく。

[A1]

特定健康診査が今年度から無料になった。受診率の推移と今後の周知方法は。

[Q1]



対象である高齢者に届く方法を検討していく。

[A4]

「すこくま手帖」のポイント対象事業が分かりづらい。周知方法に工夫がいるのでは。

[Q4]

広島県全体でアプリ導入といった機運になれば考える。トレーニングスペースは管理が大変で、設置は難しい。

[A3]

里で管理する。運動量や消費カロリーを数字で把握する事で、楽しく運動出来るのでは。また、ランニングマシンなどをどこかの施設に置き、トレーニングスペースを作れないか。